

令和5年度第3回市長定例記者会見

市長あいさつ及び説明要旨

令和5年11月29日

本日は、お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。
また、平素から本市の施策推進に多大なご理解とご協力を賜っておりますことに対し、厚くお礼を申し上げます。

まず、JR芸備線の「再構築協議会」につきましては、国からの「組織に関する意見聴取」に対して11月27日付で正式に回答したところでございます。

再構築協議会につきましては、今後も岡山県や関係自治体と連携して対応してまいりたいと考えております。

また、「ソフトボールのまち新見市」をスローガンとする本市にとりまして、大変うれしいニュースがありました。

今月11日から9日間の日程で、遠くメキシコにおいて開催されたソフトボール男子U18の第14回ワールドカップに、新見高校出身の阿曾慣太選手が日本代表として出場されました。阿曾選手は日本のエースとして大活躍され、日本代表が2020年に続き世界一となり2連覇を果たされました。

阿曾選手の活躍は、新見のソフトボール界のみならず、スポーツ界に新たな活力をもたらし、若い世代に夢と希望を与えてくれました。阿曾選手並びに関係者各位に対し、お喜びを申し上げます。

それでは、本日の記者会見での発表事項について説明させていただきます。

はじめに、「自転車用ヘルメット着用促進事業」についてであります。

本年4月1日の改正道路交通法の施行により、全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されました。

自転車乗車中の事故による負傷の軽減を図るため、安全認証を受けたヘルメットを購入した市民の方を対象に、購入費用に応じ、1人当たり3,000に一みんポイントを上限とし付与してまいります。

自転車用ヘルメットの着用を含めた、自転車の安全な利用に向けた周知啓発を一層強化するとともに、自転車用ヘルメットの購入費用を補助することで、ヘルメット着用の促進を図ってまいります。

次に、「地域経済循環創造事業」についてであります。

総務省が推進する「ローカル10,000プロジェクト」に基づく、地域経済循環創造事業交付金を活用し、地域密着型事業の立ち上げを支援してまいります。

民間事業者が、新見駅近くの既存の歴史的建造物である「旧上市郵便局」を、飲食店やコワーキングスペースなどにリノベーションする予定で計画を進めております。

市民の皆様にとって、身近で利便性の高い場所としての役割を果たすほか、観光客にとっても魅力的なスポットとなり、駅前エリアの活性化が図られることを期待しております。

次に「ペーパーレス化推進事業」についてであります。

DX推進の一環として、デジタル機器を用いた「ペーパーレス会議システム」を導入いたしました。

庁内におきましては、一部会議で既に導入を開始しており、今後は市が主催する委員会や協議会でもペーパーレス会議を取り入れていく予定としております。

これにより、会議資料の印刷や配布に係るコストと労力を削減し、事務の効率化を図るとともに、環境負荷軽減にもつなげてまいります。

また、市議会におかれましても、11月開催の常任委員会から導入を開始しており、12月市議会定例会においても、一部紙媒体も併用しながら、ペーパーレスの取組をスタートされます。

これらの取組で、本市が掲げる「ゼロカーボンシティ」の実現にもつなげてまいります。

その他、今議会では、条例9件、予算7件、その他20件を提案いたします。

令和5年度一般会計補正予算では、先ほど説明をいたしました「自転車用ヘルメット着用促進事業」や「地域経済循環創造事業」のほか、「市街地浸水対策事業」や「道路除排雪事業」など総額4億8,568万円を増額しております。

最後になりましたが、現在、全国各地でインフルエンザが流行しており、県は、10月5日、県下全域にインフルエンザ注意報を発令し、注意喚起を行っているところであります。

市内においても学校や施設などで、集団感染が発生するなど、流行拡大が懸念される状況となっております。

市民の皆様におかれましては、手洗いやマスクの着用、人混みの回避など基本的な感染予防策を徹底していただきたいと思います。

私からは以上でございます。